土木
962

土木

鉄道 道路
河川 橋梁

上海市立図書館藏書

鉄道
河川
道路
橋梁

郡下村役場受附印
甲第八一八號
三四年三月五日

冨ニ付照會置ク株式會社京釜鉄道株式
申込期限十一月三十日迄ニ有之候処同日付申込
ノミニ限リ本月十五日迄取扱ノ趣ニ有之候ヘ共
吉一般ヘ御達相成度旨通牒候也

明治三十四年十一月四日

小嶋義知

各町村長殿

明治三十三年四月十日
第八一八號

拝啓

過般設立ニ付キ貴社ニ対シ株式会社
ニ改メ二百株式募集ニ付キ貴社ハ
日韓両国ノ貿易上ニ於テ
ハ大ニ関係ヲ有スルヲ以テ資本
金五十万円ニ増し十五ヶ年間年六分
ノ利子ヲ補給セラレ特典ヲ與ヘラルヽ
ヿ確実ニ付キ株数五十万株ノ内十万株募集

目下着工事業遂行中ニ有之公債募
集ハ十月三十日迄ニ朝鮮全國ニ於テ三十万
株乃至四十万株ニ於テ壹万弐千株募集ノ
豫定ニ有之候ニ付郵便ノ為メ可成募
集ニ相成候様御尽力被成下度也

明治四十年十月三十日

押川則吉

田中農務局長殿

第七四八號
受附印 四四年十一月五日

京釜鉄道株式募集ニ関スル件

次第ニ付テハ可然御意ヲ以テ御指令相成度
ヤウ取計ヒ可申ト存ス

明治四十四年十月廿四日

内務大臣子爵 原敬

農務局長 田中長茂殿

目下看ニ立事業遂行中ニ有之ニ付国債

集ハ十月三十日ヨリ翌ハ全国ニ於テ三十万

株ヲ募下シ株主募集ノ

[illegible]

長野城下

長野城下

長野城下

長野城下

明治三十四年乙第七九二號

長　助役　掛

件名　倉長信彰ニ係

桜安

小縣郡城下村役場回議用紙

歸立桜　十月十九日　稟議　十月十九日

住　主　柳澤月藏

昌彰ニ相関シ居候京金銀貨株式會社株式募集ノ件同會社ヨリ信彰相関候ニ付株式募集ニ対シ四万株ヲ元来会社ハ資本金ニ対シ五百万円ニ対シ百分ノ二十ヲ補充スル契約ノ特典ヲ下第二回ノ株式募集ニ対シ十万株ヲ募集シ同件ハ一日ヨリ十日ヨリ迄募集相関候ニ付多数申込者アリ抽籤ニ付会社ハ株式ノ募集ノ詳細ハ当役場

目下看護婦養成中ニ付公募

第二十四号ノ二十四

[illegible]

[illegible]

[illegible]

目下看護婦養成所中ノ概況

第一表

[illegible]

[illegible]

[illegible]

明治三十四年　第　號

長　助役　掛

件名　所役所問答

桜

田第五七五號ヲ以テ街路會有之候鐵道西條迄開通ヲ
待タメ影響ノ著シキハ荷積馬車ニテ現ニ昨年ニ比シ
拾壱軽減ニ候外傳ハ別段ニ異動無之候此段及御問部
候

小縣郡城下村役場回議用紙

立案　八月二日　起草　住岡元平

決裁　月　日　発送　月　日

小田部

役場

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

明治三十四年六月廿三日

縣郡役所

第一課

長殿

甲第三九二號

三二年六月六日

丙第三九号

從来信越線敷地内用地買収ノ義ハ地方廳ト依頼シ来リタル処右ハ当地ニ帳及国有地ノ関係ヨリ官有地ノ分ノ関係ヨリ而著手セシ為ノ清算整理ノ為ノ関係ヨリ就テハ敷地ノ仮乗可之時ハ長岡保線事務所ニ方張可ニ付ト便宜ノ為メ予ニ其筋ニ対シ及照会ス

明治三十四年六月廿一日

明治三十二年 甲第三三三號

長野 城下

長野 城下

助役 水京張先

九月三日 吉下方平

九月十四日訓令第拾参號ヲ以テ御照會ニ付キ水害調別表記入ニ通ニ付仕出ス張先ニ

お長仕理

助役

村長

長野

明治三十二年 甲第二三三號

長野縣城下

助役

掛

水害報告ニ付

本月十四日訓令第拾参號ヲ以テ御照會ニ及ヒ水害調別表記入ニ通ニ付報告ニ及ヒ

九月二十日 通 月 日

知事 高木友枝

お長代理

助役

郡長

「小縣郡城下村役場回議用紙」

城下村長 男爵 [illegible]

小縣郡役所第壹課

[illegible]

[illegible]

[illegible]

長野縣城下村

長野縣城下村

小縣郡城下村役場回議用紙

明治三十四年 用 第七四〇号 稟議 十一月四日 起 行 ノ月ノ日

長 助役 掛 主任 長岡元次郎

件名 堤防上敷外刈取ヲ四巳長ヘ通知ノ件

堤防上敷外ハ芝ノ繁茂ヲ好ケ且堤防ニ亀裂法崩等アルモ容易ニ認メ難キ事ノ不利アリ時々刈取ルカ堤防維持上得策ト認メ其ニハ今後所轄二事監督巳主事ヲ刈取ラシメ通知直ニ地元関係者ヲシテ刈取ラシ度本縣ヲ通知ニ及リ伺候

右稟議ス

四巳長 光

小縣郡城下村役場回議用紙

明治三十四年 用 第七四〇号 稟議 十一月四日 起 行 ノ月ノ日

長 助役 掛 主任 長岡元次郎

件名 堤防上敷外刈取ヲ四巳長ヘ通知ノ件

堤防上敷外ハ芝ノ繁茂ヲ好ケ且堤防ニ亀裂法崩等アルモ容易ニ認メ難キ事ノ不利アリ時々刈取ルカ堤防維持上得策ト認メ其ニハ今後所轄二事監督巳主事ヲ刈取ラシメ通知直ニ地元関係者ヲシテ刈取ラシ度本縣ヲ通知ニ及リ伺候

右稟議ス

四巳長 光

[illegible]

[illegible]

[illegible]

城下町後藤家文書
甲第三一六號
昭和三十三年四月七日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

埼玉県知事宛

[illegible]

[illegible]

[illegible]

城下ガ長男宗次郎

長野縣指令甲一收第一六二四號

小縣郡城下村大字中之條

地租更員渡代田中傳太郎

明治三十三年五月二日付願出木貫寄附之件

聞届ク

明治三十三年五月三十一日

長野縣知事押川則吉

城南校場
號
月
日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

甲第三八九号
明治三二年二月七日

乙第三九一七号

御郡内五郡ニ二年地元戸長ニ付し施行可相伺候条
戸長員春望ニ候ハ御十六年四月本縣丹波縣ニ示第三十五号地元
戸長規則第二條二項ニ抵り地元戸長人ヲ選挙し其人
名生年月日等報告ニ上申九日ニ戸長人書面ニ生願請員下書ニ載生願候様御指置相成度社
限ニ候条伺候

明治三年二月六日

大縣郡役所一詰

堺下村長田中宗次郎

追ニ書日ニ何等生無ニ候ハ戸長員春望ニ付
ト認ノ目ニ向ニ取扱ヲ候様ニ

小菜郡史料 一

一縣道根方街道城下村字中ノ条道路修復ニ付

明治三十二年 甲第三一九号 辦立 六月九日 施行 六月九日

長野 城下 件名 桜元要員ノ件

桜

長 田中 助役 掛 主任 要員 下 [illegible]

本月五日付乙第三九一七号ノ二ヲ以テ御照会ノ件ニ付街道修繕工事ハ桜元要員ノ応諾ニ付桜元要員ニ名義変更ス

右報告ス

村長 [illegible]

村長 [illegible]

納税額元人 [illegible]

[illegible]

「小縣郡城下村役場回議用紙」

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

乙 二五一 三 四 五 号

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

明治三十三年四月十四日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一千四百四十四番地

[illegible]

城長
城長
城長
城長
城長

明治三十二年 第五一 辨護士 五月十二日 届出 月 日

長 助役 掛 主任 係員 下

代理人 名 工了多吳集会直知

桜井

工吉工七仁付清水議了云義有三吳二付明三月三日午後一時電

清水方ニ当役場ヘ清集会ニ出ル事ニ付直知ス

工了吳記

不在ニ付

小縣郡城下村役場印

長野縣

堤防墳地ニ付市面後ヲ要ス依テ明十八日正午迄ニ當監督区ニ市出ス有之度申達也

明治廿三年十月十七日

第二工事監督区主幹
堂島技手 [illegible]

城下郡長田中宇之吉殿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

明治三十二年 乙第三九〇号

[illegible]

[illegible]

[illegible]

長野城下

小縣郡城下村役場回議用紙

明治三十二年 乙 第一七二 号 立案 二 月 六 日 起 二 月 六 日 着

長 印

助役

件名 村道修繕ノ件寄来ス及各区長ヘ通知ノ件

村道修繕ノ件ニ付御協議致度ニ付来ル同三月三日午後市第集会所ニ於テ市道係ヲ出席ス

村長

土木係

右区長中

郡補助道編入願

本郡城下村川邊泉田浦里青木ノ四ヶ村ヲ貫通スル里道ヲ郡補道ニ編入ヲ請フ

本線ハ城下村大字浄所即チ全村役場前ヨリ縣道方ニ線路ヲ分岐スルヲ起点トシ全郡青木村ニ於テ又方ニ線路ニ合スル処ヲ終点トスル其延長大凡三里即チ柏本往還ナル旧縣道ヨリ然シテ本線ハ塩田地方西部数村落渉ル枢要里道ニシテ且ツ上田ヨリ柏本ニ通ズル近道ヲ初メテ線路開通以来廃縣道ニ属シタルモ旅客貨車ノ交通ハ更ニ以前ニ変セズ殊ニ川邊村ノ如キハ本線ニ依ルノ外ハ絶テ上田ニ通ズル路ナク加之沿道各村ハ養蚕製糸ノ本場タルヲ以テ産物ヲ輸出額極メテ多ク後ヲ肥料雑貨輸入ノ多額ナルハ勿論旅客亦タ出入郵便電信等モ繁劇ヲ極ム其他地方学生ノ此線ニ依リテ上田ニ通学スル日々有リ以テ数ヘ依テ先ツ本線ヲ通過スル一ケ

年人車交通貨物運輸ノ概数ヲ調査スルニ左ノ如シ

一通行人員十四万四千人

一貨物数三万二千五百駄

一荷車数三万六千輌

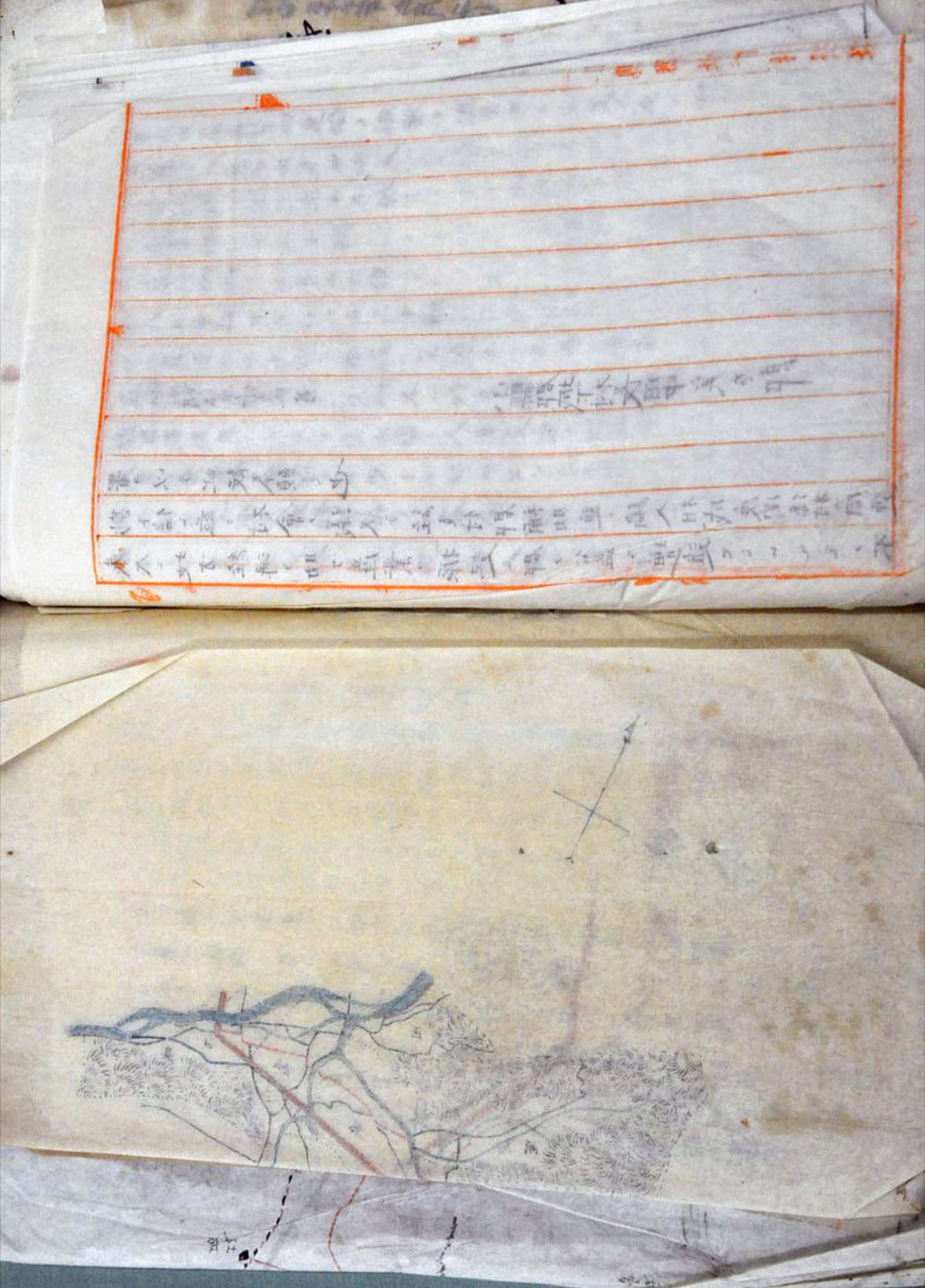
一通行駄馬二千百五十頭

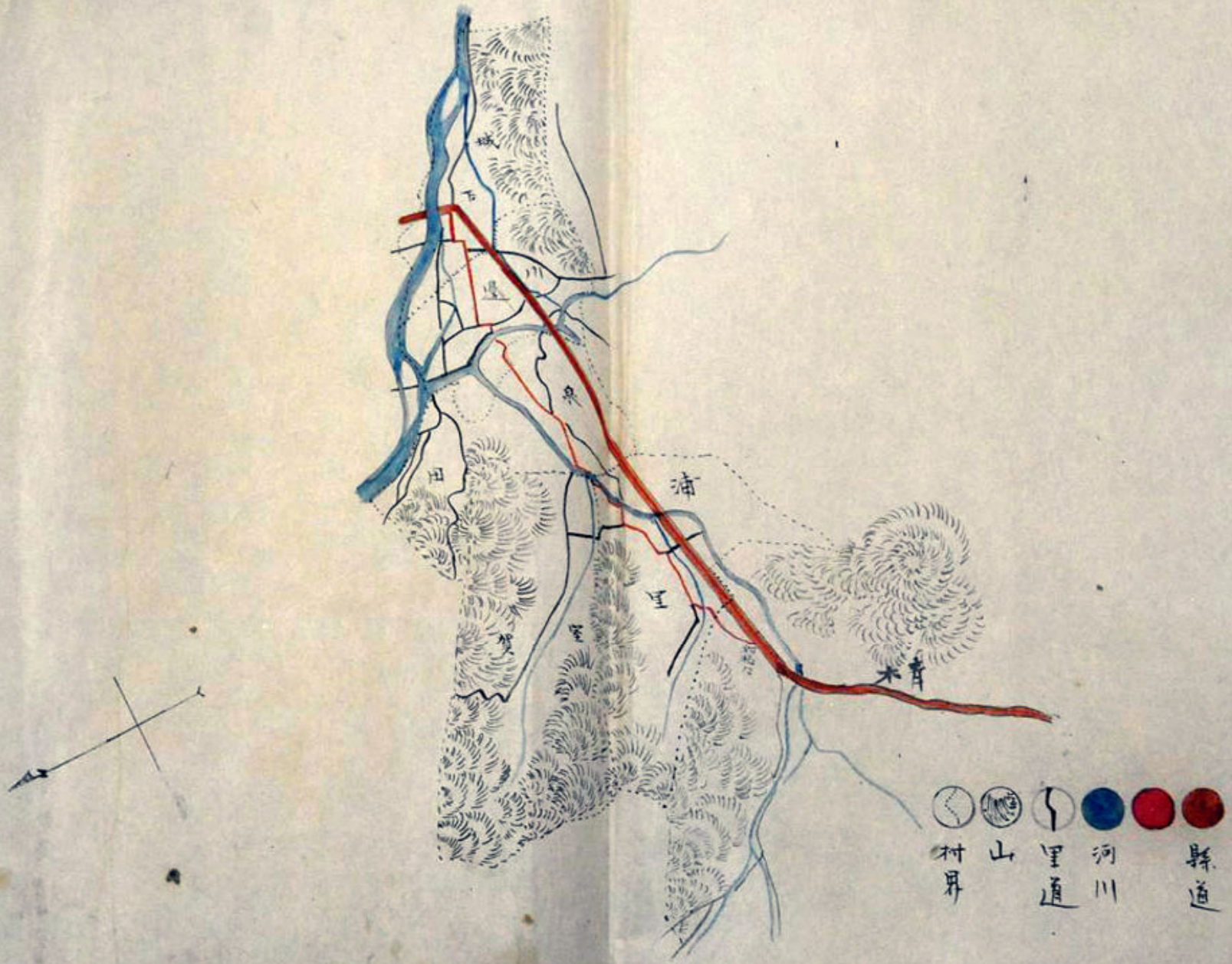
一人力車数五万千三百六十輌

以上畧述スルカ如ク本線ノ交通上ニ至大ノ便益ヲ與フルニモ不拘縣道廃線以来破損甚シク加之一昨年水害ニ際シ各所ニ大破ヲ生シ且ツ橋梁等流失セシノ多ク害ニ人車交通ノ困難甚シカラニナラズ一般産業ノ発達ヲ沮碍スル少キニ非ルカ然トスルトキハ関係村ノ力ノ本線ノ不完全ナル改修ノ事加ヘテ容易ニ業ニ資スベク依テ本道ヲ郡補線トシ以テ改修ノ暫ク人車交通ノ便ヲ得ルノミナラズ將来大ニ地方経済ヲ助ケ産業ヲ振起シ郡ノ公益ヲ増進セシムルモノト信シ茲ニ村會ノ議決ヲ経テ付郡補助道ニ編入相成度関係村一同連署ヲ以テ此段奉願ニ也

明治三十年二月

小縣郡城下村長田中実之助




浦
青木
村界
山
里道
河川
縣道

郡補助道編入願

本郡城下村川邊泉田浦畢青木八四ヶ村ヲ貫通スル郡補道編入ヲ請願ス其ノ起点ヲ本線ハ城下村大字浜所即チ仝村役場前ヨリ縣道分岐線路ヲ分岐スルヲ起点トシ仝郡青木村地ヲ又カニ線路ニ合流シ終点トシ其延長又凡三里即チ松本往還ハ旧縣道ヨリ然シテ本線ハ塩田地方西部数村落ニ渉ル枢要里道ニシテ且ツ上田ヨリ松本ヲ通スル近道タリ而シテ二線路開通以来廃縣道ニ属シタルモ旅客貨車ノ交通ハ更ニ以前ニ変セズ殊ニ川邊村ノ如キハ本線ニ依ルノ外ハ絶テ上田ニ通ズルノ路ナリ加之沿道各村ハ養蚕製種ノ本場タルヲ以テ産物ノ輸出額極メテ多ク従テ肥料雑貨輸入ノ多額ナルハ勿論旅客高人ノ出入郵便電信等モ繁劇ヲ極ム其他地方学生ノ此線ニ頼リテ上田ニ通学スル者日々百ヲ以テ数フ依テ先ヲ本線ヲ通過スル一ケ

年人車交通貨物運輸ノ概数ヲ調査スルニ左ノ如シ

一通行人員十四万四千人

一貨物数三万二千五百駄

一荷車数三万六千輌

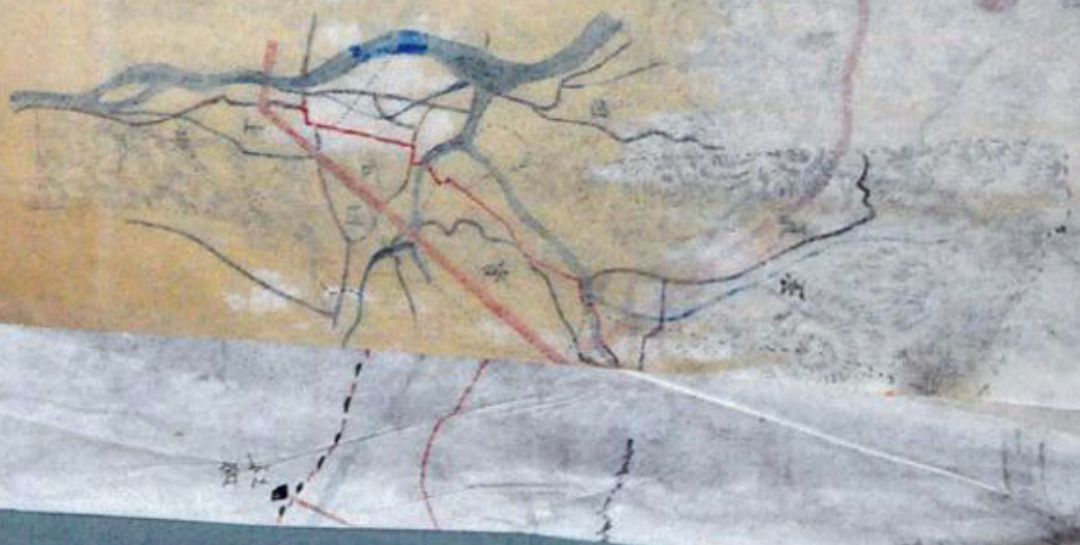
一通行駄馬二千百五十頭

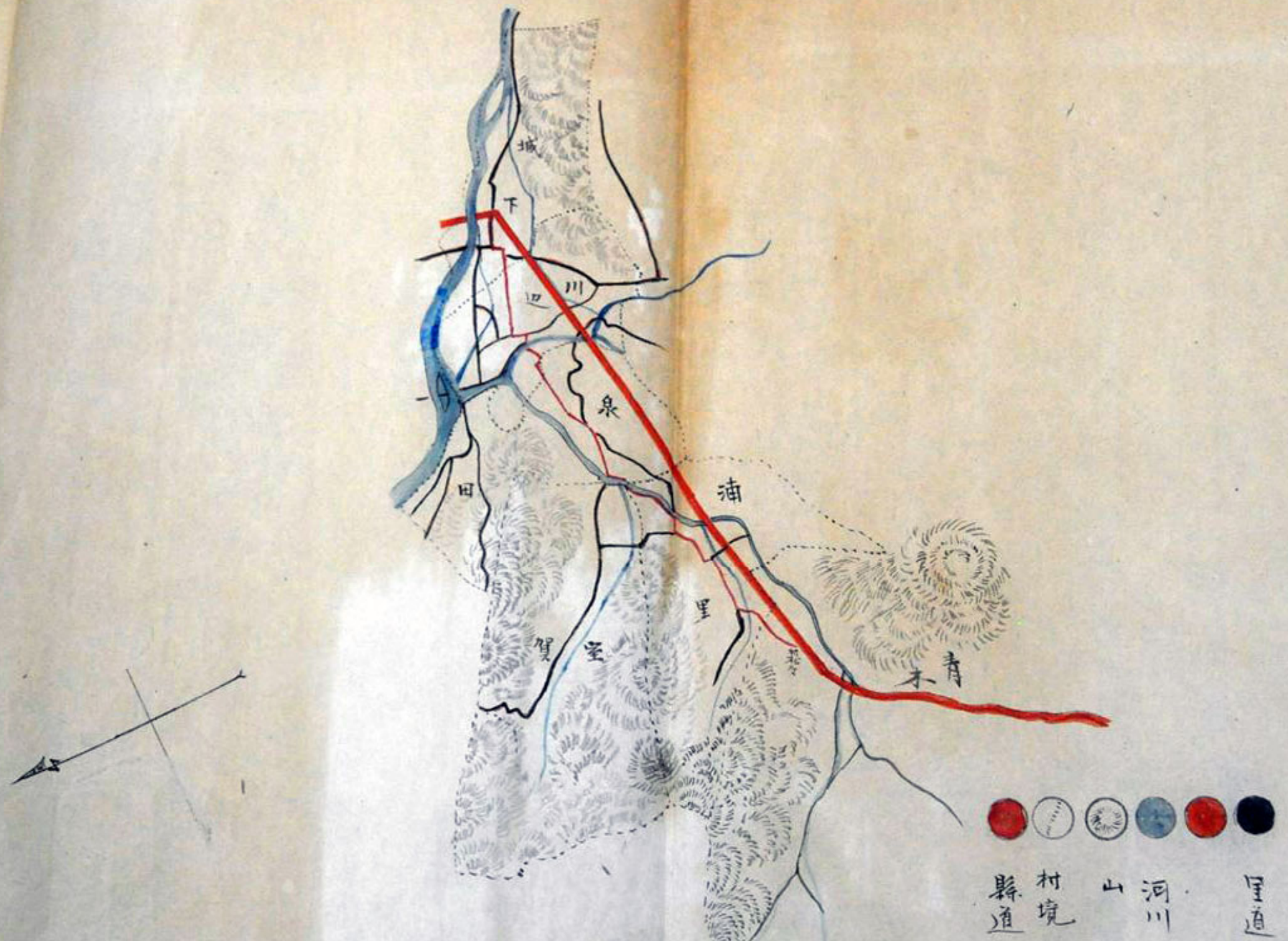
一人力車数五万千三百六十輌

以上畧述スルカ如ク本線ハ交通上ニ至大ノ便益ヲ與フルニモ不拘縣道廢線以来破損甚シク加之一昨年水害ノタメ各所ニ大破ヲ生シ且ツ橋梁等流失セシモノ多ク啻ニ人車交通ノ困難甚シキノミナラズ一般産業ノ発達ヲ沮碍スル少ナカラサリシ然ルニ本村ヲ関係村ノ力ノ及ブ限リ全部改修ヲ加ヘ容易ノ業ニ非ズ依テ本道ヲ郡補線トナシ是レ改修ノ緩急人車交通ノ便ヲ得ルノミナラズ將来大ニ地方経済ヲ助ケ産業ヲ振起シ郡ノ公益ヲ増進セシムルモノ不鮮ト信ジ茲ニ村會ノ議決ヲ経テ付郡補助道ニ編入相成度関係村一全連署ヲ以テ此段奉願候也

明治三十一年二月

小縣郡城下村長田中庚左郎




城
下
川
辺
泉
田
浦
賀
室
里
青
木
縣道
村境
山
河川
里道

意見書

本件ハ小縣郡泉田室賀両村間ノ里道郡補助道ニ編入スルヲ可カラサルノ急務ナルヲ述ブルモノニシテ本線路ハ縣道第二路線泉田村字吉吉町ヨリ分岐スルヲ起点トシ全村字町小泉ヨリ室賀村縦貫シ更級郡ニ達スル里道ニシテ延長實測壱里三拾町四拾間五分内宗田村分壱里拾七町九間五分室賀村分壱里拾三町三拾一間延長四拾八間

抑本線路改修ノ目的タルヤ本郡ノ産ヲナル塩田一圓隣郡タル更級及坂城停車場篠ノ井停車場間著ニ於ケル

運輸交通ノ自由ヲ全クシ経済上需用供給ノ便利ヲ得セシメ人文発達ヲ幸トシ併テ軍事ノ間道ニ供セントス殊ニ洪水其他ノ事変ニヨリ千曲川渡川スル能ハザル場合ニアリテハ本線路ヲ通行スルノ外他ニ便アルヲ見ズ況ンヤ最モ近路タルニ於テヲヤ故ニ既往ニ鑒ミ将来ヲ推測シ一郡公益ノ為メ利害アル所ヲ開陳セントス

第一 本線路ヲ通過スル一ヶ年人員貨物員数及種類概ネ左ノ如シ

一通行人員七万三千人（但シ村内人員ヲ除ク）

一貨物数壱万八千二百五拾駄

一荷車数壱万六千輌

一通行駄馬数三千二百五拾頭

一人力車数五千七百七拾五輌

一貨物数類　穀類　肥料類　薪炭　材木

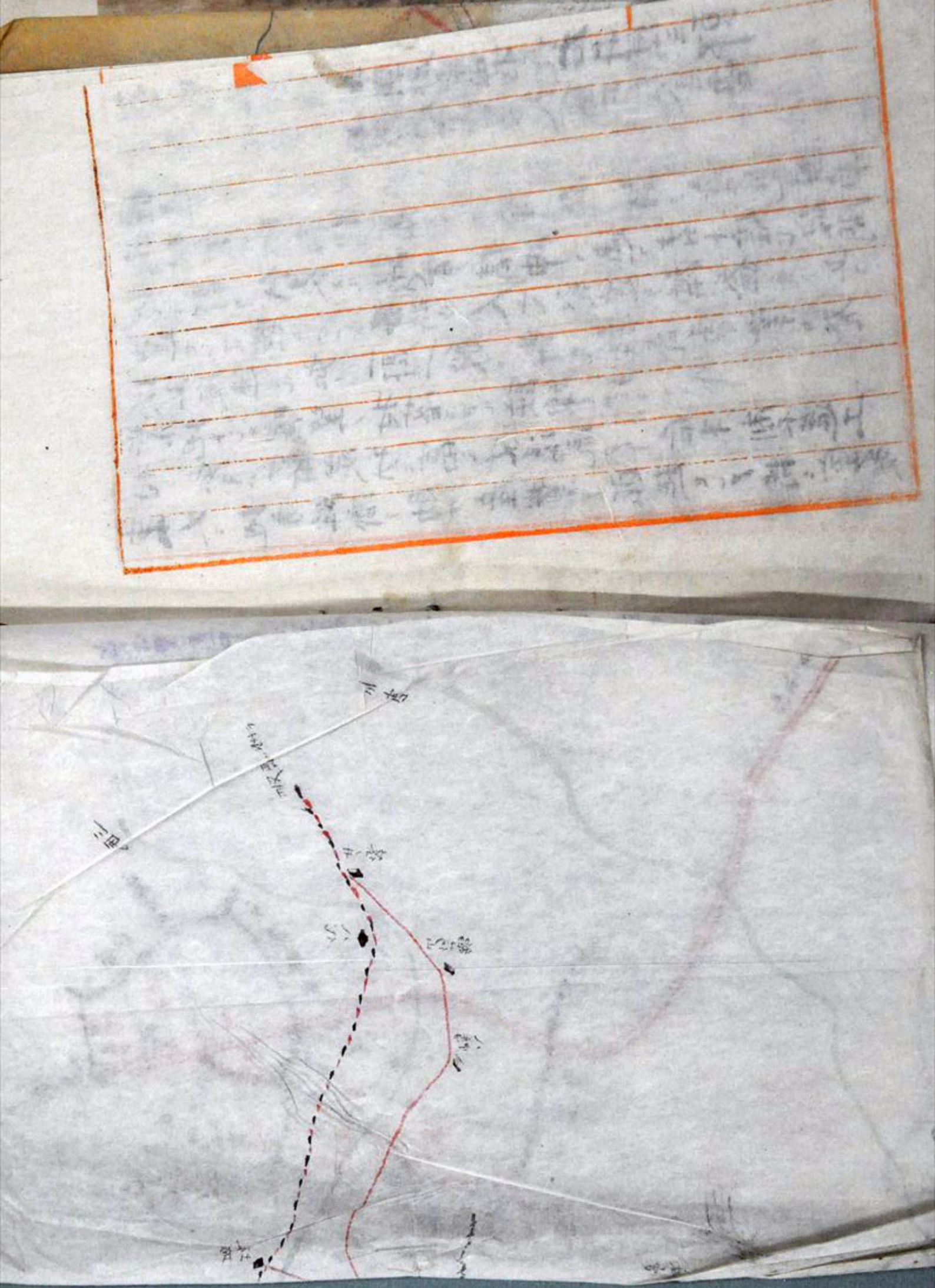
和紙　紙屑　生糸　繭　楮　煙草　干瓢

煮柿　石油　砂糖　魚類　其他数種

本線ハ更級郡境ニ達スル前拾八町四拾壱間ノ處即チ上室賀ノ中央字神門ヨリ東筑摩郡ニ達スル里道延長（三拾壱町五拾三間五分）アリ現ニ工事中ナル篠ノ井松本間ノ鉄道線路開通スルニ於テハ当郡ヨリ該線路ニ出ル東

筑前郡麻績駅ニ達スル最近路ニシテ又軍事ニアリテハ
東筑ニ兵営ヲ新設セラルヽノ今日戦時ハ勿論平時
本郡兵士ノ入除隊ニ際シ郡内興比ノ便道ニシテ該線ノ東
客並ニ貨物運搬上是又比類ナキ近路タルヲ副有セリ
依テ將来交通運搬発達ノ程度各数階ヲ信ズ如斯
分線ヲ有シ一擧両便ノ線路ニシテ地勢モ亦峻悪ナラズ
容易ニ改修シ得ベシ然ルニ本線路ハ狹隘ノ為メ貨物
運輸ノ困難ヲ極メ従テ巨額ノ運賃ヲ徒費シ需供
両者ノ損害ヲ来タシ自然事業ノ発達ヲ沮碍スル事
尠カラズ如斯本線ヲシテ郡補助道トナシ改修クスルノ暁ニハ將
来大ニ地方経済ヲ助ケ産業ヲ賑起セシノ materials ニ空
村ノ如キハ新炭材ニ富ミ又清流アリ石末制造工
業地トシテ嘱望ノ村落ニアル該線ニ於テヲヤ
以上陳述スル如ク一郡一般ニ對スル経済事業ヲ発
達セシムル點ニ於テ將タ人文発達ヲ裨益スルノ上ニ
於テ郡ヲ代表スル議會ノ精神ニ適フ者ト信ジ候間
両村會ノ所村制第三十五條ニ依リ謹テ意見具申
候也

小縣郡室賀村長藤井左金吾
小縣郡泉田村長石井儀三郎



東筑紫
郡
村
福岡
福岡
福岡

本村里道中ニテ役場ヲ分岐シ浙所ヲ経テ結川堤ニ達スル里道ヲ郡道補助線ニ編入ヲ請ハントス

理由

本村里道中ニテ二線路ヲ分岐シテ役場前ヲ浙所ヲ経テ結川堤ニ通スル里道及旧和道ハ実ニ狭ク且ツ交通非常ノ繁劇ナルモ拘ハラズ該道路ハ和道廃線以来破損実ニ甚シク加ヘテ昨年水害ノ為メ大破ヲ生シ修繕ヲ施シ一応負担ニ堪ヘサル以テ該ニ於テ郡ノ決議ヲ経テ郡道補助線ニ編入ヲ請フノ目的ヲ以テ関係ノ川辺泉村ニ連署郡衙ヲ請願シ其ノ補助ヲ得テ修繕ヲ加ヘ交通ノ便ヲ図ラントスルモノナリ

明治三十五年十月日提出

本村長 田中寅之助

長野県埴科郡城下村長 田中寅之助

[illegible]

[illegible]

[illegible]

拝啓時下益々御繁昌之段
慶賀奉補助線編入願意
見書差之図面相添申出以幸使
差上候
但本村関係海路問数追ヶ
取調由之図知仕度候
世年二月十日

泉田村役場

城下村役場御中

田中青葉氏
蒐集特殊
郵便物

愛媛縣小
豊郡泉田
村役場印

明治
泉田
小織

郡補助道編入願

郡内ニ於ケル川堀泉田浦里青木ノ四ヶ村ヲ要路ニ
里道ヲ郡補助道ニ編入ス請願ノモノニテ抑モ本線ハ
本郡大字酒部郡ヶ谷ヲ経傷ヲ郡道ニ線路ヲ分岐ス
ル地点トシテ郡ヶ谷ヲ青木ヲ経テ又ニ線路ニ合
スル処ヲ経テ点トシテ延長六哩三里郡ヶ松平往還ヲ
出郡道ヨリ然ルニ本線改修ニ要ス長ク塩田地方
西部ヲ落ル郡ヶ谷ヲ通ル松平往還ヲ通ル松平里道ニ
ヨリテ且ツ上田ヲ
通スル流路ハ二線路間通以来廃郡道
ハ旅客貨車ノ交通ニ以前ニ変ル事ナク
加之沿道各村ハ養蚕製糸ノ本場ニシテ以テ産物
ノ輸出頗ル増加ス
理由維持費ノ輸入ヲ欲スル

加論説ヲ旅客商人ノ如ク郵便電信之端緒ヲ開キ極メテ
其他地方産生ノ土産、通学ノ生徒ノ日々百以上数ヲ算シ
平線ノ通行人車ノ交通貨物ノ運輸ノ概数
ヲ調査シ之ヲ表ニ左ニ掲ク
一通行人員　十四万四千人
一貨物数　三万二千五百駄
一荷車数　三万六千輌
一駄馬　約千百五十疋
一人力車数　五万千三百六十輌
以上男女ノ往来ヲ本線ノ改修ハ一日モ欠ルカラサル急務
務ナリ和道廃線以来破損甚シク加之一昨年水害
ヲ蒙リ各所ニ大破ヲ生シ且ツ橋梁等ハ流失スルモノ多シ

多ク人車交通ノ便困難
其他ノ事情ハ一般ノ業ノ発達ヲ阻碍スル
ヲ非ラザルヲ以テ之カ関係ヲ改修ヲ加フル容易ノ業ニアラズ依テ本道ヲシテ郡道
補助線トナシ且ツ改修スヘキ暁ニハ人車交通ノ便ヲ
得ルニアラズ将来ニ於テ経済ノ発達ヲ助ケ産業ノ
振起ハ郡ノ公益ヲ増進セシムル所以ナリ
ノ議決ヲ経夫ノ郡補助道ニ編入ス

意見書

本件ハ小縣郡泉田室賀兩村間ノ里道郡補助道ニ編入欠クヘカラサルノ急務ナルヲ述フルモノニシテ本線路ハ縣道第二路線泉田村字古吉町ヨリ分岐スルヲ起点トシ仝村字町小泉ヨリ室賀村ヲ縦貫シ更級郡ニ達スルノ里道ニシテ延長實測壹里三十町四十間五分内泉田村分十三町卅一間室賀村分壹里十七町九間五分此内橋梁五ケ所此延長四十八間

抑本線路改修ノ目的タルヤ本郡ノ重ナル鹽田一圓隣郡タル更級及坂城停車場篠ノ井停車場等ニ於ケル運輸交通ノ自由ヲ全フシ經済上需用供給ノ便利ヲ得セシメ人文發達ヲ主トシ併セテ軍事ノ間道ニ供セントス殊ニ洪水其他ノ事變ニ依リ千曲川渡川スル能ハサル場合ニアリテハ本線路ヲ通行スルノ外他ニ便アルヲ見ス況ンヤ最モ近路タルニ於テオヤ故ニ既往ニ鑑ミ將來ニ推測シ一郡公益ノ爲メ利害アル所ヲ開述セントス

第一本線路ヲ通過スル一ケ年人員貨物員數及種類概目如左

一通行人員七万三千人（但シ村内人員ヲ除ク）

一貨物數壹万八千二百五十駄

一荷車數一万六千輛

一通行駄馬數三千六百五十頭

一人力車數五千四百七十五輛

一貨物種類　穀類　肥料類　薪炭　材木　和紙　紙屑

生絲　繭　楮　烟草　干瓢　串柿　石油　砂糖　魚類

其他數種

茲ニ本線ハ更級郡境ニ達スル前十八町四十一間ノ所即チ上室賀ノ中央字神門ヨリ東筑摩郡ニ達スル里道（延長卅一町五十三間五分）アリ現ニ工事中ナル篠ノ井松本間ノ鐵道線路開通スルニ於テハ當郡ヨリ該線路タル東筑摩郡麻績驛ニ達スル最近路ニシテ又軍事ニアリテハ東筑摩ニ兵營ヲ新設セラルヽノ今日戰時ハ勿論平時本郡兵士ノ入除隊ニ際シ郡内無比ノ便道ニシテ該線ノ乘客並ニ貨物運搬上是又比類ナキ近路タル分線ヲ副有セリ依テ將來交通運輸發達ノ程度各數倍ナルヲ信ス

如斯分線ヲ有シ一擧兩便ノ線路ニシテ地勢モ亦嶮惡ナラズ容易ニ改修シ得ヘシ然ルニ本線路ハ狹隘ノ爲メ貨物運輸ノ困難ヲ極メ從テ巨額ノ運賃ヲ徒費シ需供兩者ノ損害ヲ來シ自然事業ノ發達ヲ沮碍スル事尠カラス如斯本線ヲシテ郡補助道トナシ改修スルノ曉ニハ將來大ニ地方經濟ヲ助ケ産業ヲ振起セシノ特ニ室賀村ノ如キハ薪炭材ニ富ミ又清流アリ后來製造工業地トシテ嘱望ノ村落ニアル該線ニ於テオヤ

以上陳述スル如ク一郡一般ニ對スル經濟事業ヲ發達セシムル点ニ於テ將タ人文發達ヲ稗益スルノ上ニ於テ郡ヲ代表スル議

會ノ精神ニ適フモノト信シ候間兩村會ハ町村制第三十五條ニ
ヨリ謹テ意見具申候也

明治卅一年二月十二日　小縣郡室賀村長藤井左金吾
小縣郡泉田村長石井傳三郎

小縣郡長中嶋精一殿

北
麻績
郡
乱東
賀
村
賀
村
泉
田
村
福田村
上田
坂城
八幡
篠ノ井
八代
三田
塩尾村

昭和二年六月廿八日

甲第七号

防施設ノ義ニ付キ去ル三十三年七月十五日
甲第六五三号ヲ以テ通牒要旨ノ如ク
之ガ関係者ニ於テモ夫々注意致居リ
ト存ズルモ共一昨年来特ニ出水
毎ニ材料準備等自然等閑ニ流ルヤウ
事ナキヤ甚ダ遺憾トスル所ニシテ復
築ニ当ツテハ国庫補助ノ指定改正ノ結果大ニ補
助率ヲ低減セラレタルヲ以テ一朝大被害ノ
ルトキハ之ガ復築ヲ完成スル容易ニ
ニ至ルベシト就テハ之関係者ニ於テモ
治水工作物ノ維持ニ注意シ防材料

城下村

九先男六三六

時下村
九先界六三六